

大学の世界展開力強化事業 取組概要 九州大学



【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA-I CAMPUS Asia Pilot Program))

エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム

Energy-Environmental Science and Technology, Advanced School of International Alliance (EEST ASIA)

【プログラムの目的・養成する人材像】

専門分野の深い知識を修得し、それに基づく研究開発能力、エネルギー環境問題の現状の理解と発展的考察力、グローバルに活動するために必要な英語力を兼ね備えた研究/技術者倫理を持ち、異国の文化・人・社会を理解出来る人材

【構想の概要】

エネルギー問題とそれに関係する環境問題に関わる科学と技術分野において、将来グローバルに活躍できる高度研究者・技術者を国際連携の下で育成するためのダブルディグリー理工学大学院協働教育プログラムを、九州大学(KU,日本)、上海交通大学(SJTU,中国)、釜山大学校(PNU,韓国)が共同開発し、本格的に実施する

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ エネルギー環境理工学国際コース(EESTコース)の創設発足とダブルディグリー(DD)生入学開始

平成25年度より、DD取得を可能にしたEESTコースを発足させた。PNUまたはSJTUからKUへの留学生、および九大からどちらかの大学への留学生、共にこのコースに所属させ、半期の留学と、修士論文研究等により、KUとSJTUまたはPNUいずれかでそれぞれの修了要件を満たせば、2大学同時に修士の修了(DD)が認められる。(コース所属1期生は平成26年度末にDDを取得予定)



〈国際PDCA委員会 於SJTU〉

○ 国際PDCA委員会及び国内PDCA委員会の定期会議の開催

日中韓コンソーシアム内の国際PDCA委員会、各大学の国内PDCA委員会を適宜開催し、本大学院協働教育プログラムの点検評価及びそれに基づく改善、DD授与の成績管理と学位認定方法等について協議を重ねた。

○ 外部委員によるプログラム運営に関する評価の実施

九州大学国際交流総合企画会議で本プログラム運営・活動実績に関する評価がなされ、極めて高い評価が得られた。

■ 実施した交流プログラムの概要



〈第2回サマースクールオープニング〉



〈スプリングセミナー 長崎地方校外学習〉

○ 交換留学の実施

DD取得の為の交換留学(各校へ5名ずつ派遣、SJTUより5名、PNUより4名受入)を実施

○ 第2回 サマースクール(2週間)を開催

本事業の主要教育プログラムの一つであるサマースクール(第2回)を、KUがホスト校として開催した。プログラムのオープン化、更なる国際化を目指し、参加者を3大学のDD学生にとどめず、3大学からの非DD生の参加を認めると共に、アジア各国(タイ、インドネシア、マレーシア、パングラデシュ、インド)の協定校より10名を招き、総勢91名の学生を参加させ、成功裏に終了した。

○ オータムセミナー CSS-EEST15(2日間)への参加

3大学の学生の研究交流事業であるCSSセミナーがSJTUの主催で行われた。KUからはコース生を含む49名、SJTUから21名、PNUから68名が参加し、活発な交流が行われた。

○ スプリングセミナー(4日間)を開催

EESTコースのカリキュラムの一環として、3大学のDD生及びEESTコース生・候補生を一同に集め、セミナーを開催した。長崎地方校外学習・工場見学(三菱造船所など)及びチュートリアル講義・学生セッションを実施した。

注)H23・H24・H25は実績、H26以降は計画

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

- ・各大学へDD生5名(合計10名)を半期間派遣した。
- ・CSS-EEST(於SJTU)へ49名(含 EESTコース生11名)を派遣した。

○ 外国人留学生の受入

- ・SJTUよりDD生5名(4月~8月)、PNUよりDD生3名(10月~2月)と交換留学生1名(10月~12月)を受入れた。
- ・サマースクールでは、PNUより28名、SJTUより18名、アジア各国より10名の学生を受入れた。
- ・スプリングセミナーでは、PNUより14名、SJTUより7名の学生を受入れた。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本(J)での受入	C10,K10	C25,K41	C30,K46 Others 10	C27,K27 Others 5	C7,K7
中国(C)での受入	0	J3,K3	J54,K71	J7,K7	J7,K7
韓国(K)での受入	0	J24,C13	J5,C2	J7,C7	C25,J37

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 日本人学生の派遣

- ・英語運用能力向上のため、実践英語教育を行い、定期的にTOEICを受験させることにより、その成果を検証している。
- ・派遣留学生に対し、事前オリエンテーションを実施し留学先での勉学・生活に向けての助言を行った。
- ・サマースクール修了証や就職活動に有益となる推薦書を発行するなど、修学・就職を含めた全面的な支援を行った。

○ 外国人学生の受入

- ・留学生交流支援制度(短期受入)を利用してアジア各国より10名をサマースクールへ招聘し、プログラムの活発化・オープン化を行った。
- ・受入留学生へは、生活支援の為にサポーターを配置、また、オリエンテーションを開き、履修指導などの修学支援を行った。
- ・英語にて開講される科目を整備し、充実したカリキュラムの提供を行った。



〈スプリングセミナー 学生セッション〉

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 九州大学国際教育化シンポジウム「プロジェクトを超えて」の企画立案・参加

- ・本プロジェクトの情報公開、学内・学外への周知拡大を目指してシンポジウムを企画立案し、広報活動を行った。

○ ホームページ・Facebook及び事業報告書発行による関連箇所へのPR活動

- ・HP,FBを活用した学生間との情報共有・ネットワーク構築、並びに実績報告書配布による各関連箇所へのPR活動を行った。